

世帯属性別にみた貯蓄・負債の状況

1 世帯主の年齢階級別

(1) 世帯主が40歳未満の世帯で貯蓄現在高は前年に比べ4.9%の増加

二人以上の世帯について世帯主の年齢階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が602万円と最も少なく、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっており、60歳以上の各年齢階級では2000万円を超える貯蓄現在高となっている。

負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1123万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高が少なくなっている。また、負債保有世帯の割合は、40～49歳の世帯が64.8%と最も高く、40歳以上の世帯では年齢階級が高くなるに従って割合が低くなっている。

純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、40歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、70歳以上の世帯の純貯蓄額は2264万円と最も多くなっている。一方、40歳未満の世帯では負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、負債超過となっている。

40歳未満の世帯について2016年と比べると、貯蓄現在高は、前年に比べ28万円、4.9%の増加となっている。一方、負債現在高は、前年に比べ25万円、2.3%の増加となり、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は1057万円で、前年に比べ16万円、1.5%の増加となっている。

(図 - 1 - 1, 表 - 1 - 1)

図 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高，負債保有世帯の割合
(二人以上の世帯) - 2017年 -

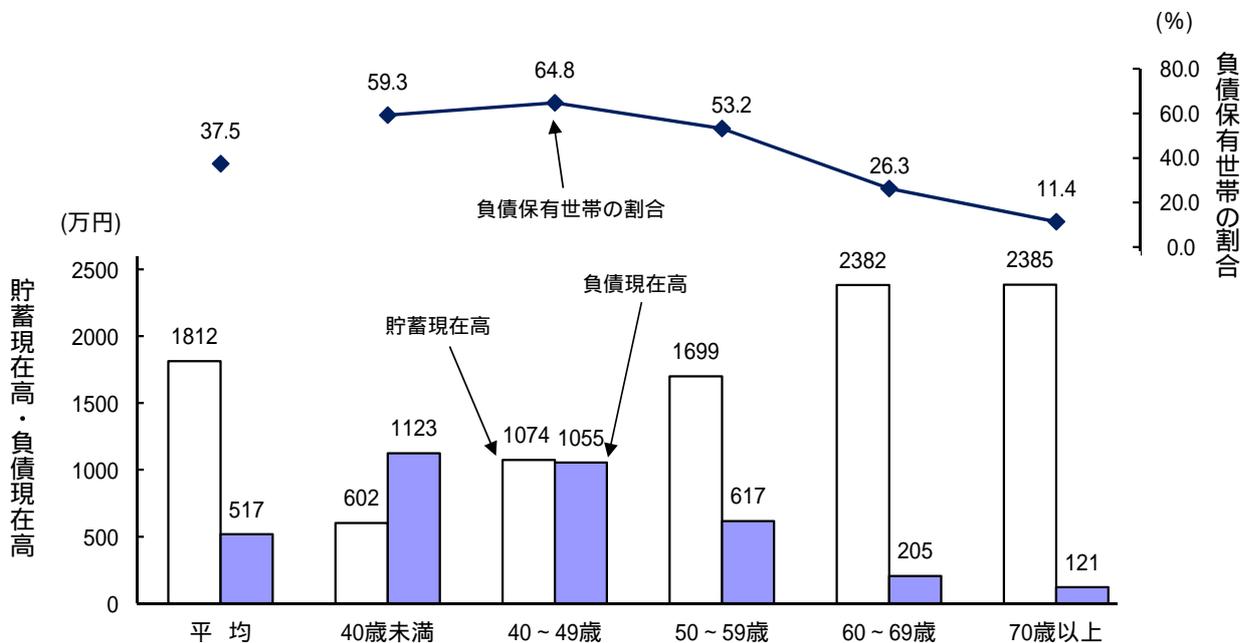


表 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
貯蓄現在高(万円)						
2008年	1680	591	1179	1675	2288	2415
2009	1638	558	1111	1670	2202	2361
2010	1657	577	1082	1660	2314	2253
2011	1664	554	1118	1588	2363	2211
2012	1658	530	1033	1675	2249	2197
2013	1739	588	1049	1595	2385	2385
2014	1798	562	1030	1663	2484	2452
2015	1805	608	1024	1751	2402	2389
2016	1820	574	1065	1802	2312	2446
2017	1812	602	1074	1699	2382	2385
対前年増減率(%)						
2009年	-2.5	-5.6	-5.8	-0.3	-3.8	-2.2
2010	1.2	3.4	-2.6	-0.6	5.1	-4.6
2011	0.4	-4.0	3.3	-4.3	2.1	-1.9
2012	-0.4	-4.3	-7.6	5.5	-4.8	-0.6
2013	4.9	10.9	1.5	-4.8	6.0	8.6
2014	3.4	-4.4	-1.8	4.3	4.2	2.8
2015	0.4	8.2	-0.6	5.3	-3.3	-2.6
2016	0.8	-5.6	4.0	2.9	-3.7	2.4
2017	-0.4	4.9	0.8	-5.7	3.0	-2.5
年間収入(万円)						
2017年	617	598	762	841	582	435
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)						
2017年	293.7	100.7	140.9	202.0	409.3	548.3
負債現在高(万円)						
2008年	498	758	954	525	217	124
2009	479	707	942	529	201	116
2010	489	777	940	551	221	108
2011	462	772	871	551	226	90
2012	469	829	978	536	197	96
2013	499	931	994	607	204	93
2014	509	934	1051	654	213	78
2015	499	942	1068	645	196	83
2016	507	1098	1047	591	220	90
2017	517	1123	1055	617	205	121
対前年増減率(%)						
2009年	-3.8	-6.7	-1.3	0.8	-7.4	-6.5
2010	2.1	9.9	-0.2	4.2	10.0	-6.9
2011	-5.5	-0.6	-7.3	0.0	2.3	-16.7
2012	1.5	7.4	12.3	-2.7	-12.8	6.7
2013	6.4	12.3	1.6	13.2	3.6	-3.1
2014	2.0	0.3	5.7	7.7	4.4	-16.1
2015	-2.0	0.9	1.6	-1.4	-8.0	6.4
2016	1.6	16.6	-2.0	-8.4	12.2	8.4
2017	2.0	2.3	0.8	4.4	-6.8	34.4

表 - 1 - 1 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）（続き）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
住宅・土地のための負債(万円)						
2008年	444	712	873	452	178	96
2009	429	666	881	451	165	83
2010	431	734	865	452	170	83
2011	409	729	812	466	170	68
2012	421	785	913	462	153	72
2013	448	876	923	526	165	70
2014	458	883	975	558	178	59
2015	446	896	994	536	158	63
2016	452	1041	974	490	182	62
2017	463	1057	988	540	162	86
負債保有世帯の割合(%)						
2008年	41.1	54.4	62.1	51.2	26.3	15.4
2009	40.5	51.2	63.3	52.1	26.1	14.7
2010	40.0	53.2	62.8	52.1	24.9	15.0
2011	38.2	53.5	59.9	52.9	25.0	12.3
2012	38.9	54.1	64.5	51.9	27.0	12.5
2013	38.7	56.0	61.8	54.9	25.2	12.8
2014	37.8	54.9	62.3	53.1	26.1	11.8
2015	38.1	52.6	64.6	54.6	27.1	12.4
2016	37.3	57.7	62.8	52.9	27.1	11.2
2017	37.5	59.3	64.8	53.2	26.3	11.4
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円) ¹						
2008年	1182	-167	225	1150	2071	2291
2009	1159	-149	169	1141	2001	2245
2010	1168	-200	142	1109	2093	2145
2011	1202	-218	247	1037	2137	2121
2012	1189	-299	55	1139	2052	2101
2013	1240	-343	55	988	2181	2292
2014	1289	-372	-21	1009	2271	2374
2015	1306	-334	-44	1106	2206	2306
2016	1313	-524	18	1211	2092	2356
2017	1295	-521	19	1082	2177	2264
世帯数分布(%) ²						
2017年	100.0	12.2	18.2	16.9	23.5	29.3

1 マイナスは、負債超過額を示す。

2 貯蓄・負債編は、貯蓄・負債不詳世帯を除いて集計しているため、世帯数分布が家計収支編と一致しない。

(2) 負債保有世帯のうち負債超過額が最も多いのは世帯主が40歳未満の世帯

二人以上の世帯のうち負債保有世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、40歳未満の世帯が533万円と最も少なくなっているのに対し、60歳以上の世帯は1628万円と最も多くなっており、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高は多くなっている。

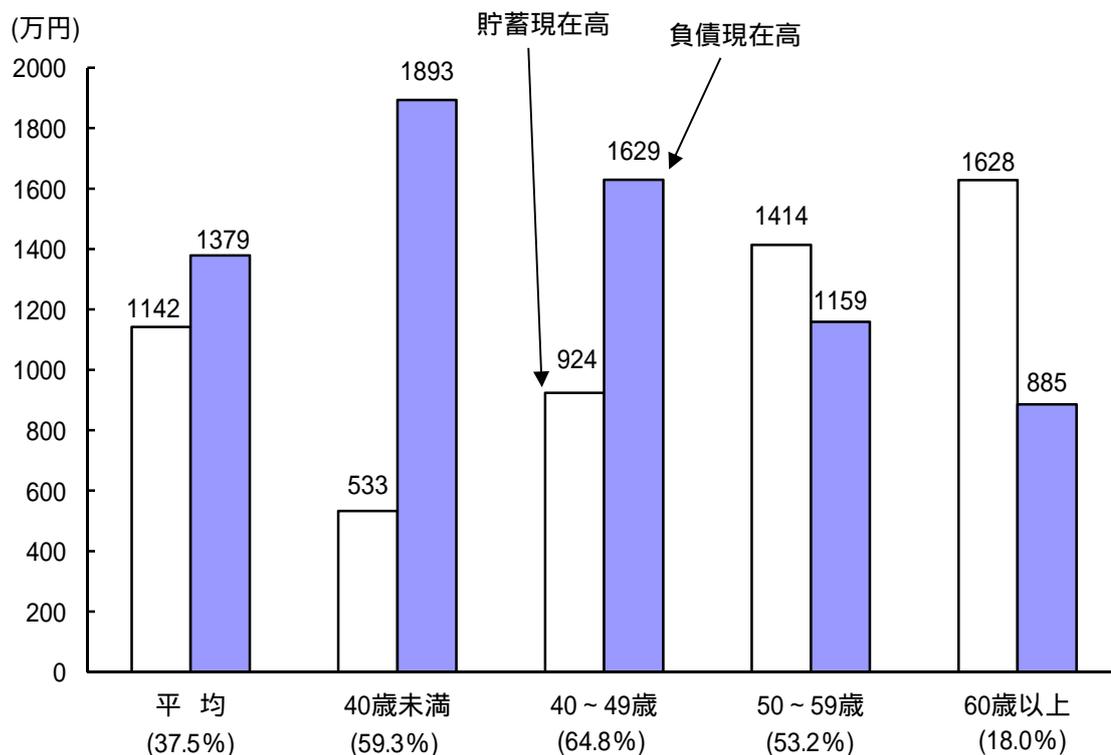
負債現在高をみると、40歳未満の世帯が1893万円と最も多く、年齢階級が高くなるに従って負債現在高は少なくなっている。

純貯蓄額をみると、50歳未満の各年齢階級で負債現在高が貯蓄現在高を上回っており、40歳未満の世帯の負債超過額が1360万円と最も多くなっている。一方、50歳以上の各年齢階級では貯蓄現在高が負債現在高を上回っており、60歳以上の世帯の純貯蓄額は743万円となっている。

40歳未満の世帯について2016年と比べると、貯蓄現在高は、前年に比べ10万円、1.8%の減少となっている。一方、負債現在高は、前年に比べ5万円、0.3%の減少となり、負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債は1783万円で、前年に比べ17万円、0.9%の減少となっている。

(図 - 1 - 2, 表 - 1 - 2)

図 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高
(二人以上の世帯のうち負債保有世帯) - 2017年 -



注) ()内は、当該階級ごとの二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合

表 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移

(二人以上の世帯のうち負債保有世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
貯蓄現在高(万円)					
2008年	1050	507	947	1213	1553
2009	1014	444	897	1227	1466
2010	1037	458	843	1248	1600
2011	1041	485	897	1126	1664
2012	1025	474	851	1213	1504
2013	1046	477	867	1232	1553
2014	1124	499	879	1286	1767
2015	1128	528	860	1324	1654
2016	1111	543	912	1346	1551
2017	1142	533	924	1414	1628
対前年増減率(%)					
2009年	-3.4	-12.4	-5.3	1.2	-5.6
2010	2.3	3.2	-6.0	1.7	9.1
2011	0.4	5.9	6.4	-9.8	4.0
2012	-1.5	-2.3	-5.1	7.7	-9.6
2013	2.0	0.6	1.9	1.6	3.3
2014	7.5	4.6	1.4	4.4	13.8
2015	0.4	5.8	-2.2	3.0	-6.4
2016	-1.5	2.8	6.0	1.7	-6.2
2017	2.8	-1.8	1.3	5.1	5.0
年間収入(万円)					
2017年	740	621	786	899	625
貯蓄年収比(貯蓄現在高/年間収入)(%)					
2017年	154.3	85.8	117.6	157.3	260.5
負債現在高(万円)					
2008年	1211	1389	1537	1024	819
2009	1184	1383	1489	1015	777
2010	1223	1458	1497	1059	829
2011	1207	1443	1457	1040	851
2012	1208	1531	1517	1033	742
2013	1291	1662	1609	1107	781
2014	1349	1705	1687	1231	762
2015	1310	1796	1653	1181	708
2016	1357	1898	1669	1116	810
2017	1379	1893	1629	1159	885
対前年増減率(%)					
2009年	-2.2	-0.4	-3.1	-0.9	-5.1
2010	3.3	5.4	0.5	4.3	6.7
2011	-1.3	-1.0	-2.7	-1.8	2.7
2012	0.1	6.1	4.1	-0.7	-12.8
2013	6.9	8.6	6.1	7.2	5.3
2014	4.5	2.6	4.8	11.2	-2.4
2015	-2.9	5.3	-2.0	-4.1	-7.1
2016	3.6	5.7	1.0	-5.5	14.4
2017	1.6	-0.3	-2.4	3.9	9.3

表 - 1 - 2 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高の推移

(二人以上の世帯のうち負債保有世帯)(続き)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60歳以上
住宅・土地のための負債(万円)					
2008年	1081	1306	1406	882	656
2009	1061	1301	1393	865	610
2010	1079	1380	1378	868	639
2011	1071	1362	1358	880	643
2012	1082	1451	1415	890	569
2013	1160	1567	1494	958	618
2014	1214	1612	1566	1051	621
2015	1170	1710	1538	982	559
2016	1211	1800	1553	926	632
2017	1235	1783	1525	1015	666
純貯蓄額(貯蓄現在高 - 負債現在高)(万円)					
2008年	-161	-882	-590	189	734
2009	-170	-939	-592	212	689
2010	-186	-1000	-654	189	771
2011	-166	-958	-560	86	813
2012	-183	-1057	-666	180	762
2013	-245	-1185	-742	125	772
2014	-225	-1206	-808	55	1005
2015	-182	-1268	-793	143	946
2016	-246	-1355	-757	230	741
2017	-237	-1360	-705	255	743
世帯数分布(%)					
2017年	100.0	19.3	31.4	24.0	25.4

マイナスは、負債超過額を示す。

2 年間収入五分位階級別

(1) 年間収入が最も低い第 階級の世帯では定期性預貯金の割合が半分

二人以上の世帯について年間収入五分位階級別^注に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第 階級(世帯主の平均年齢68.7歳)が1432万円、年間収入が最も高い第 階級(同53.8歳)が2520万円となっている。

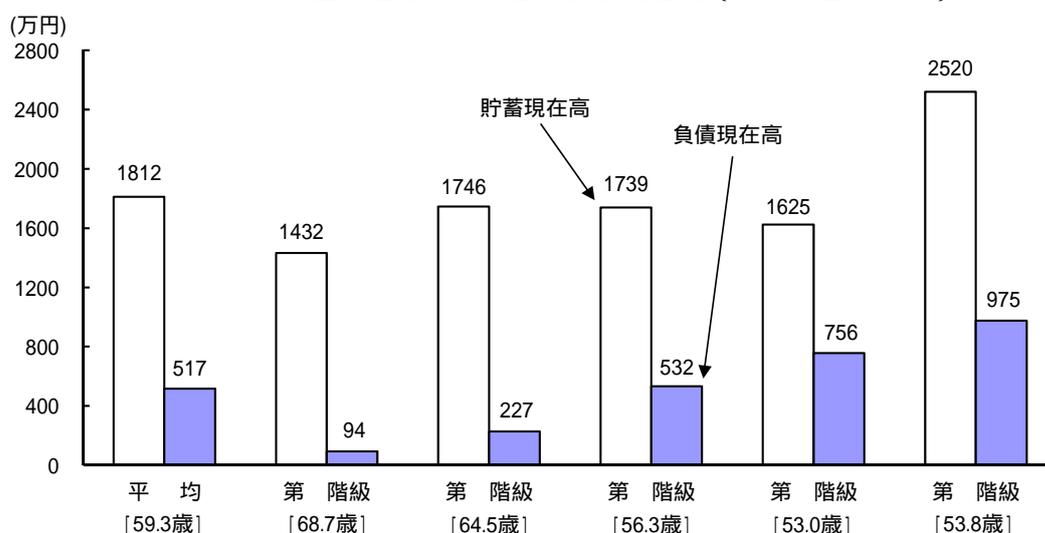
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、通貨性預貯金は第 階級が26.1%と最も高く、第 階級が22.1%と最も低くなっている。定期性預貯金は第 階級が48.4%と最も高く、第 階級が33.7%と最も低くなっている。有価証券は第 階級が15.6%と最も高く、第 階級が9.6%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第 階級が94万円、第 階級が975万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 1, 図 - 2 - 2, 表 - 2 - 1)

注) 年間収入五分位階級とは、年間収入の低い方から高い世帯へと順に並べて5等分したもので、低い方から第 階級、第 階級、第 階級、第 階級、第 階級(五分位)階級という。

図 - 2 - 1 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高(二人以上の世帯) - 2017年 -



注) []内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 2 年間収入五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比(二人以上の世帯) - 2017年 -

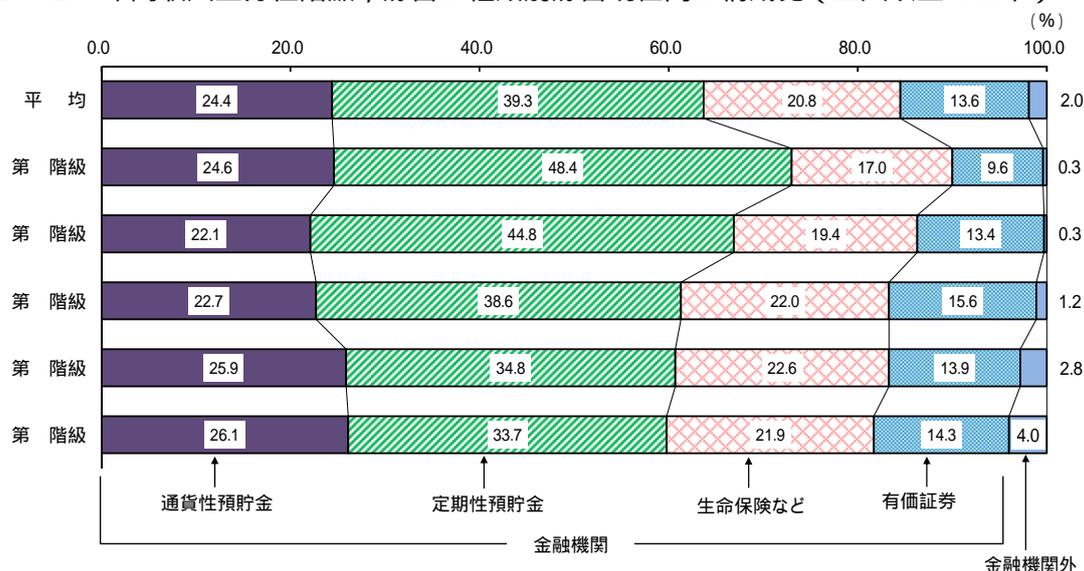


表 - 2 - 1 年間収入五分位階級，貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯) - 2017年 -

項 目	平 均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 329万円	329 ~ 451万円	451 ~ 611万円	611 ~ 841万円	841万円 ~
世帯人員(人)	2.99	2.45	2.70	3.01	3.33	3.44
世帯主の年齢(歳)	59.3	68.7	64.5	56.3	53.0	53.8
持家率(%)	85.9	84.9	87.4	84.0	85.1	88.3
年間収入	617	255	金額(万円) 388 528		717	1199
貯蓄現在高	1812	1432	金額(万円) 1746 1739		1625	2520
金融機関	1777	1426	1740	1719	1579	2419
通貨性預貯金	442	352	385	394	421	658
普通銀行等	353	268	298	304	337	561
郵便貯金銀行	89	84	87	90	84	97
定期性預貯金	712	693	782	671	565	849
普通銀行等	506	466	529	485	403	648
郵便貯金銀行	206	227	253	186	162	201
生命保険など	377	244	338	382	367	552
有価証券	246	137	234	272	226	360
金融機関外	36	5	6	20	46	101
貯蓄現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
金融機関	98.1	99.6	99.7	98.8	97.2	96.0
通貨性預貯金	24.4	24.6	22.1	22.7	25.9	26.1
普通銀行等	19.5	18.7	17.1	17.5	20.7	22.3
郵便貯金銀行	4.9	5.9	5.0	5.2	5.2	3.8
定期性預貯金	39.3	48.4	44.8	38.6	34.8	33.7
普通銀行等	27.9	32.5	30.3	27.9	24.8	25.7
郵便貯金銀行	11.4	15.9	14.5	10.7	10.0	8.0
生命保険など	20.8	17.0	19.4	22.0	22.6	21.9
有価証券	13.6	9.6	13.4	15.6	13.9	14.3
金融機関外	2.0	0.3	0.3	1.2	2.8	4.0
負債現在高	517	94	金額(万円) 227 532		756	975
住宅・土地のための負債	463	74	202	489	691	859
住宅・土地以外の負債	37	15	14	27	41	89
月賦・年賦	17	5	11	16	24	27
負債現在高	100.0	100.0	構成比(%) 100.0 100.0		100.0	100.0
住宅・土地のための負債	89.6	78.7	89.0	91.9	91.4	88.1
住宅・土地以外の負債	7.2	16.0	6.2	5.1	5.4	9.1
月賦・年賦	3.3	5.3	4.8	3.0	3.2	2.8

(2) 勤労者世帯の貯蓄現在高は年間収入が高くなるに従って多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について年間収入五分位階級別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、年間収入が最も低い第1階級(世帯主の平均年齢49.5歳)が795万円、年間収入が最も高い第5階級(同50.5歳)が2184万円となっており、年間収入が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっている。

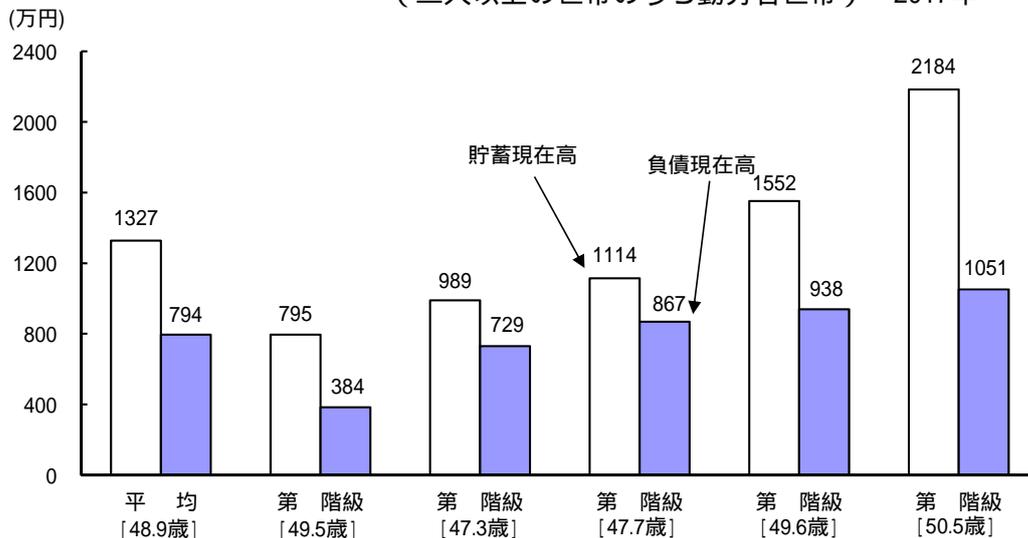
貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比をみると、通貨性預貯金は第3階級が30.1%と最も高く、第1階級が27.1%と最も低くなっている。定期性預貯金は第1階級が37.7%と最も高く、第5階級が31.0%と最も低くなっている。有価証券は第5階級が14.1%と最も高く、第1階級が7.2%と最も低くなっている。

負債現在高をみると、第1階級が384万円、第5階級が1051万円となっており、年間収入が高くなるに従って負債現在高が多くなっている。

(図 - 2 - 3, 図 - 2 - 4, 表 - 2 - 2)

図 - 2 - 3 年間収入五分位階級別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2017年 -



注) []内は、世帯主の平均年齢

図 - 2 - 4 年間収入五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2017年 -

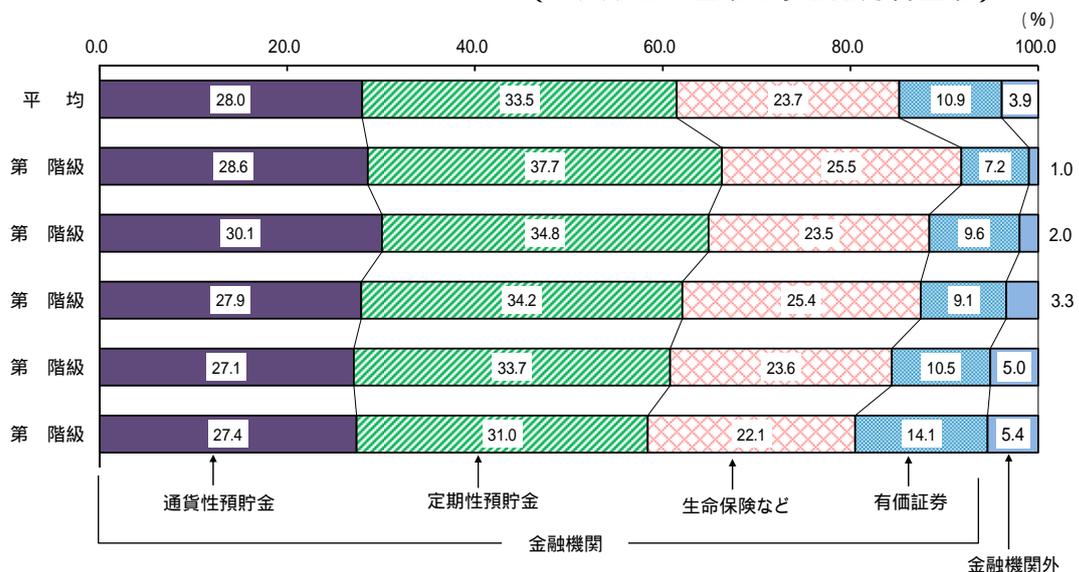


表 - 2 - 2 年間収入五分位階級，貯蓄・負債の種類別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2017年 -

項 目	平 均	第 階 級	第 階 級	第 階 級	第 階 級	第 階 級
		~ 453万円	453~ 592万円	592~ 740万円	740~ 945万円	945万円 ~
世帯人員(人)	3.35	3.08	3.27	3.45	3.46	3.51
世帯主の年齢(歳)	48.9	49.5	47.3	47.7	49.6	50.5
持家率(%)	79.0	67.1	75.8	80.4	84.7	87.2
年間収入	722	355	524	663	831	1238
貯蓄現在高	1327	795	989	1114	1552	2184
金融機関	1274	788	969	1077	1473	2066
通貨性預貯金	371	227	298	311	420	598
普通銀行等	300	179	234	246	335	508
郵便貯金銀行	70	48	64	65	85	90
定期性預貯金	445	300	344	381	523	677
普通銀行等	313	207	245	251	384	480
郵便貯金銀行	132	93	99	131	139	197
生命保険など	314	203	232	283	367	483
有価証券	145	57	95	101	163	308
金融機関外	52	8	20	37	78	118
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	96.0	99.1	98.0	96.7	94.9	94.6
通貨性預貯金	28.0	28.6	30.1	27.9	27.1	27.4
普通銀行等	22.6	22.5	23.7	22.1	21.6	23.3
郵便貯金銀行	5.3	6.0	6.5	5.8	5.5	4.1
定期性預貯金	33.5	37.7	34.8	34.2	33.7	31.0
普通銀行等	23.6	26.0	24.8	22.5	24.7	22.0
郵便貯金銀行	9.9	11.7	10.0	11.8	9.0	9.0
生命保険など	23.7	25.5	23.5	25.4	23.6	22.1
有価証券	10.9	7.2	9.6	9.1	10.5	14.1
金融機関外	3.9	1.0	2.0	3.3	5.0	5.4
負債現在高	794	384	729	867	938	1051
住宅・土地のための負債	739	354	682	799	881	979
住宅・土地以外の負債	33	17	28	44	36	43
月賦・年賦	21	14	19	23	22	29
負債現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
住宅・土地のための負債	93.1	92.2	93.6	92.2	93.9	93.1
住宅・土地以外の負債	4.2	4.4	3.8	5.1	3.8	4.1
月賦・年賦	2.6	3.6	2.6	2.7	2.3	2.8

3 貯蓄現在高五分位階級別

貯蓄現在高が最も高い第 階級の世帯の有価証券の割合は約 2 割

二人以上の世帯について貯蓄現在高五分位階級別^注に貯蓄・負債現在高をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って、負債現在高は少なくなる傾向にある。貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が低い階級では、通貨性預貯金の割合が高くなっている。一方、貯蓄現在高が高い階級では、定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が最も高い第 階級についてみると、有価証券の割合は約 2 割となっている。

(図 - 3 - 1 , 図 - 3 - 2 , 表 - 3 - 1)

注) 貯蓄現在高五分位階級とは、貯蓄現在高の低い方から高い世帯へと順に並べて5等分したもので、低い方から第 1 階級、第 2 階級、第 3 階級、第 4 階級、第 5 階級 (五分位) 階級という。

図 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯) - 2017年 -

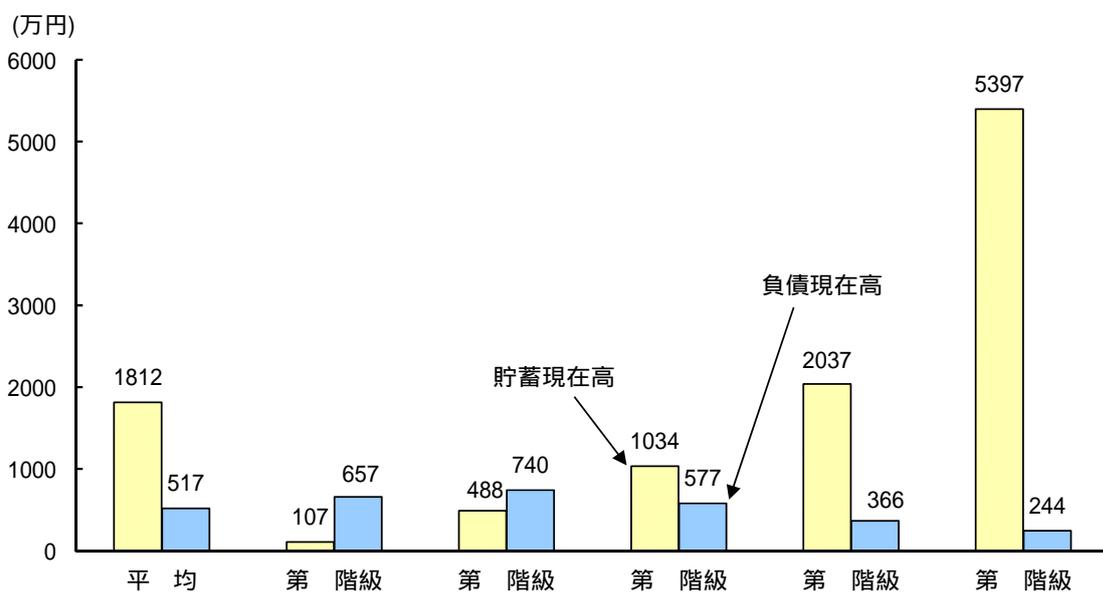


図 - 3 - 2 貯蓄現在高五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比

(二人以上の世帯) - 2017年 -

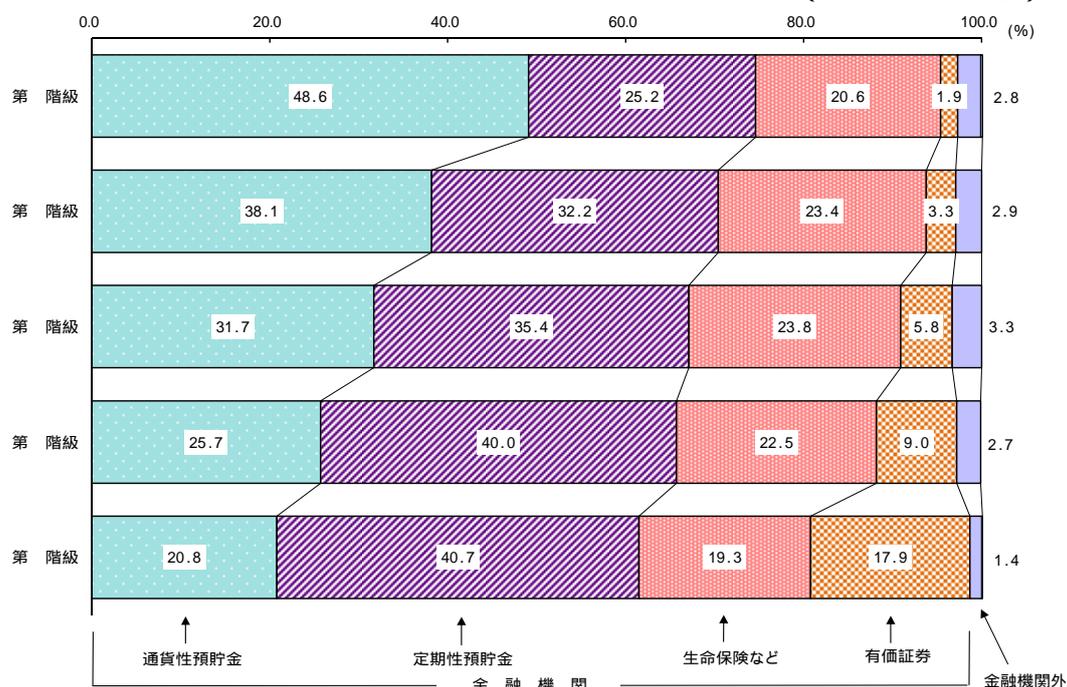


表 - 3 - 1 貯蓄現在高五分位階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 2017年 -

項目	平均	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級	第 階級
		~ 283万円	283~ 716万円	716~ 1419万円	1419~ 2852万円	2852万円 ~
金 額 (万円)						
貯蓄現在高	1812	107	488	1034	2037	5397
金融機関	1777	104	474	1000	1982	5324
通貨性預貯金	442	52	186	328	524	1121
定期性預貯金	712	27	157	366	815	2194
生命保険など	377	22	114	246	459	1043
有価証券	246	2	16	60	184	966
金融機関外	36	3	14	34	55	73
(参考)年間収入	617	505	589	620	647	727
構 成 比 (%)						
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	98.1	97.2	97.1	96.7	97.3	98.6
通貨性預貯金	24.4	48.6	38.1	31.7	25.7	20.8
定期性預貯金	39.3	25.2	32.2	35.4	40.0	40.7
生命保険など	20.8	20.6	23.4	23.8	22.5	19.3
有価証券	13.6	1.9	3.3	5.8	9.0	17.9
金融機関外	2.0	2.8	2.9	3.3	2.7	1.4
構成比の対前年変化幅(ポイント)						
貯蓄現在高						
金融機関	0.2	0.4	0.4	-0.6	0.0	0.2
通貨性預貯金	1.8	-3.5	1.0	3.2	1.0	1.6
定期性預貯金	-0.6	0.7	-0.7	-3.6	-0.6	-0.1
生命保険など	0.0	1.5	-0.2	-0.6	-0.6	0.2
有価証券	-1.0	-0.2	0.0	0.3	0.0	-1.4
金融機関外	-0.1	-0.4	-0.4	0.5	0.0	-0.2

4 持家世帯（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

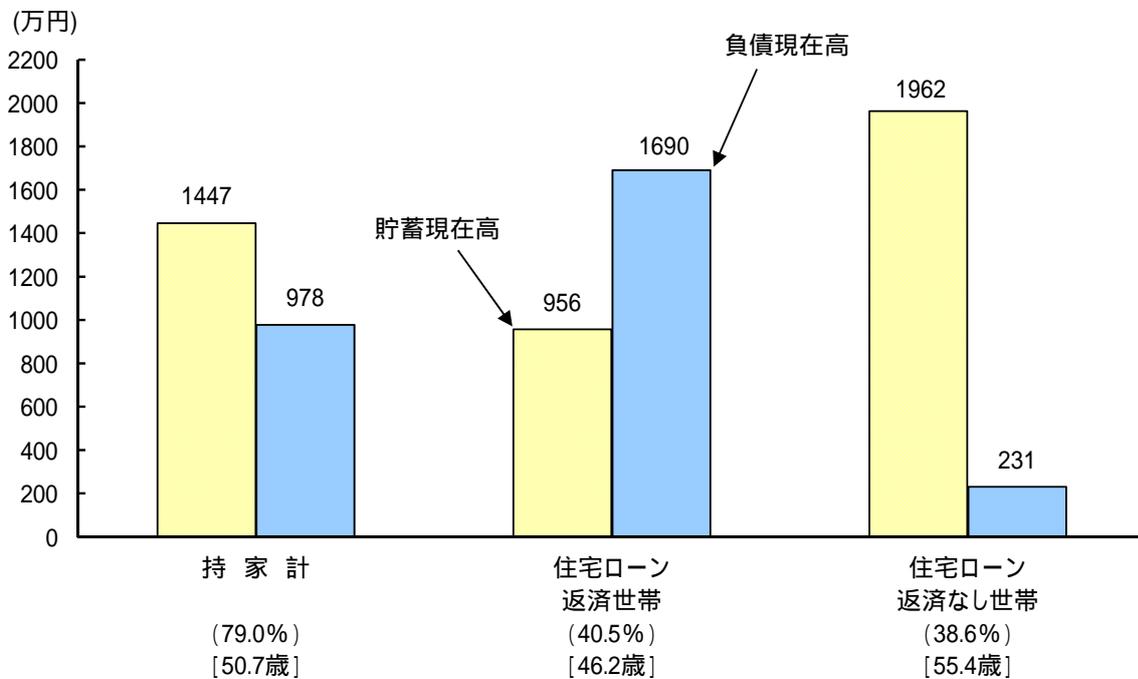
(1) 持家世帯のうち住宅ローン返済世帯の負債現在高は1690万円

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯（勤労者世帯に占める割合79.0%，世帯主の平均年齢50.7歳）について，住宅ローンの有無別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると，住宅ローン返済世帯（同40.5%，同46.2歳）は956万円となっており，前年に比べ50万円，5.5%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯（同38.6%，同55.4歳）は1962万円となっており，前年に比べ31万円，1.6%の減少となっている。

同様に，負債現在高をみると，住宅ローン返済世帯は1690万円となっており，前年に比べ41万円，2.5%の増加となっている。住宅ローン返済なし世帯は231万円となっており，前年に比べ16万円，6.5%の減少となっている。

（図 - 4 - 1，表 - 4 - 1）

図 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高
（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 2017年 -



注) 1 ()内は，勤労者世帯に占める割合

2 []内は，世帯主の平均年齢

表 - 4 - 1 持家世帯の住宅ローンの有無別貯蓄・負債現在高の推移
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

年次	金額(万円)			対前年増減率(%)		
	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯	持家計	住宅ローン返済世帯	住宅ローン返済なし世帯
貯蓄現在高						
2008年	1436	901	1942	0.0	-2.6	1.7
2009	1383	873	1909	-3.7	-3.1	-1.7
2010	1419	861	2011	2.6	-1.4	5.3
2011	1406	875	1963	-0.9	1.6	-2.4
2012	1419	890	1990	0.9	1.7	1.4
2013	1370	869	1918	-3.5	-2.4	-3.6
2014	1462	903	2037	6.7	3.9	6.2
2015	1442	925	1962	-1.4	2.4	-3.7
2016	1424	906	1993	-1.2	-2.1	1.6
2017	1447	956	1962	1.6	5.5	-1.6
負債現在高						
2008年	854	1547	199	-2.0	-2.2	-6.6
2009	863	1496	210	1.1	-3.3	5.5
2010	914	1573	215	5.9	5.1	2.4
2011	877	1525	197	-4.0	-3.1	-8.4
2012	918	1582	201	4.7	3.7	2.0
2013	946	1597	234	3.1	0.9	16.4
2014	971	1677	244	2.6	5.0	4.3
2015	959	1671	243	-1.2	-0.4	-0.4
2016	981	1649	247	2.3	-1.3	1.6
2017	978	1690	231	-0.3	2.5	-6.5
住宅・土地のための負債						
2008年	801	1475	164	-1.8	-1.9	-8.4
2009	813	1423	184	1.5	-3.5	12.2
2010	861	1496	187	5.9	5.1	1.6
2011	825	1457	162	-4.2	-2.6	-13.4
2012	865	1506	173	4.8	3.4	6.8
2013	888	1515	202	2.7	0.6	16.8
2014	923	1611	215	3.9	6.3	6.4
2015	898	1585	207	-2.7	-1.6	-3.7
2016	909	1557	197	1.2	-1.8	-4.8
2017	919	1605	200	1.1	3.1	1.5
世帯主の年齢(歳)						
2017年	50.7	46.2	55.4	-	-	-

(2) 持家世帯のうち住宅の建築時期が「2010～2013年」及び「2014～2017年」の世帯は負債現在高が貯蓄現在高を上回っている

二人以上の世帯の勤労者世帯のうち持家世帯について住宅の建築時期別に貯蓄現在高をみると、「2005年以前」(世帯主の平均年齢54.0歳)が1605万円、「2006～2009年」(同47.0歳)が1363万円、「2010～2013年」(同44.3歳)が1093万円、「2014～2017年」(同41.5歳)が1010万円となっており、住宅の建築時期が新しくなるに従って貯蓄現在高が少なくなっている。

負債現在高をみると、「2005年以前」が601万円、「2006～2009年」が1345万円、「2010～2013年」が1670万円、「2014～2017年」が2162万円となっており、住宅の建築時期が新しくなるに従って負債現在高が多くなっている。

純貯蓄額をみると、「2010～2013年」、「2014～2017年」では負債現在高が貯蓄現在高をそれぞれ577万円、1152万円上回っているのに対し、「2005年以前」、「2006～2009年」では貯蓄現在高が負債現在高をそれぞれ1004万円、18万円上回っている。

(図 - 4 - 2 , 表 - 4 - 2)

図 - 4 - 2 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2017年 -

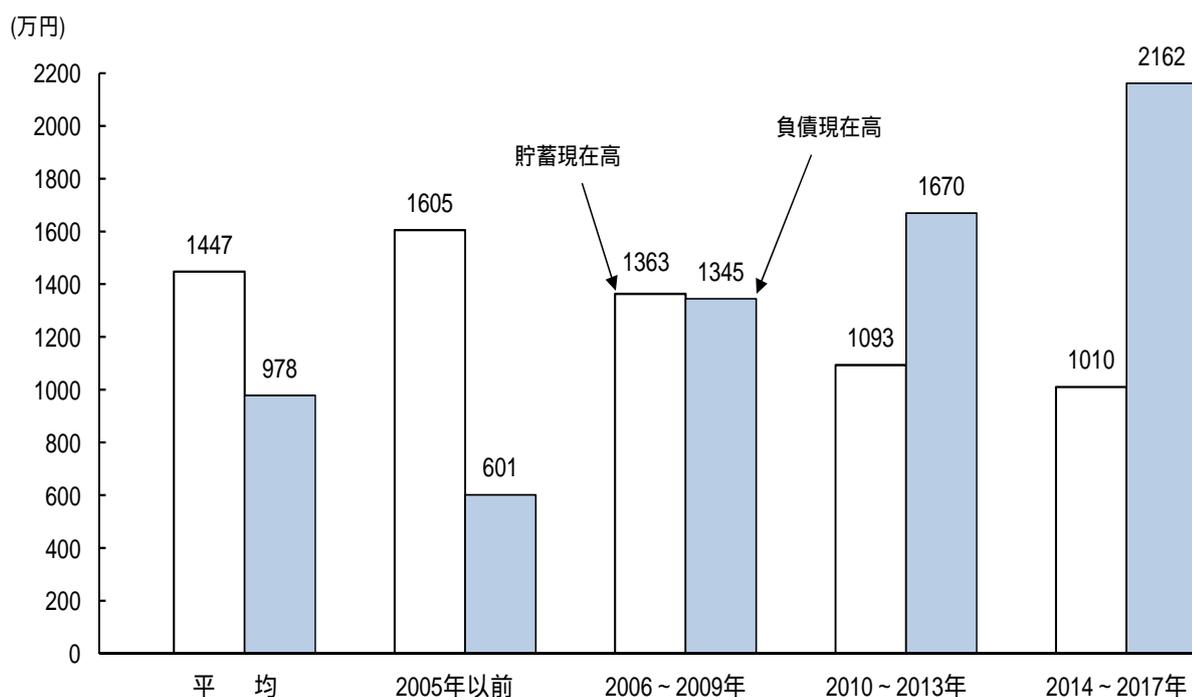


表 - 4 - 2 持家世帯の住宅の建築時期別貯蓄・負債現在高

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯) - 2017年 -

(万円)

項目	平均	2005年以前	2006～2009年	2010～2013年	2014～2017年
世帯主の年齢(歳)	50.7	54.0	47.0	44.3	41.5
貯蓄現在高	1447	1605	1363	1093	1010
負債現在高	978	601	1345	1670	2162
住宅・土地のための負債	919	545	1269	1604	2120
純貯蓄額 (貯蓄現在高 - 負債現在高)	469	1004	18	-577	-1152

マイナスは、負債超過額を示す。

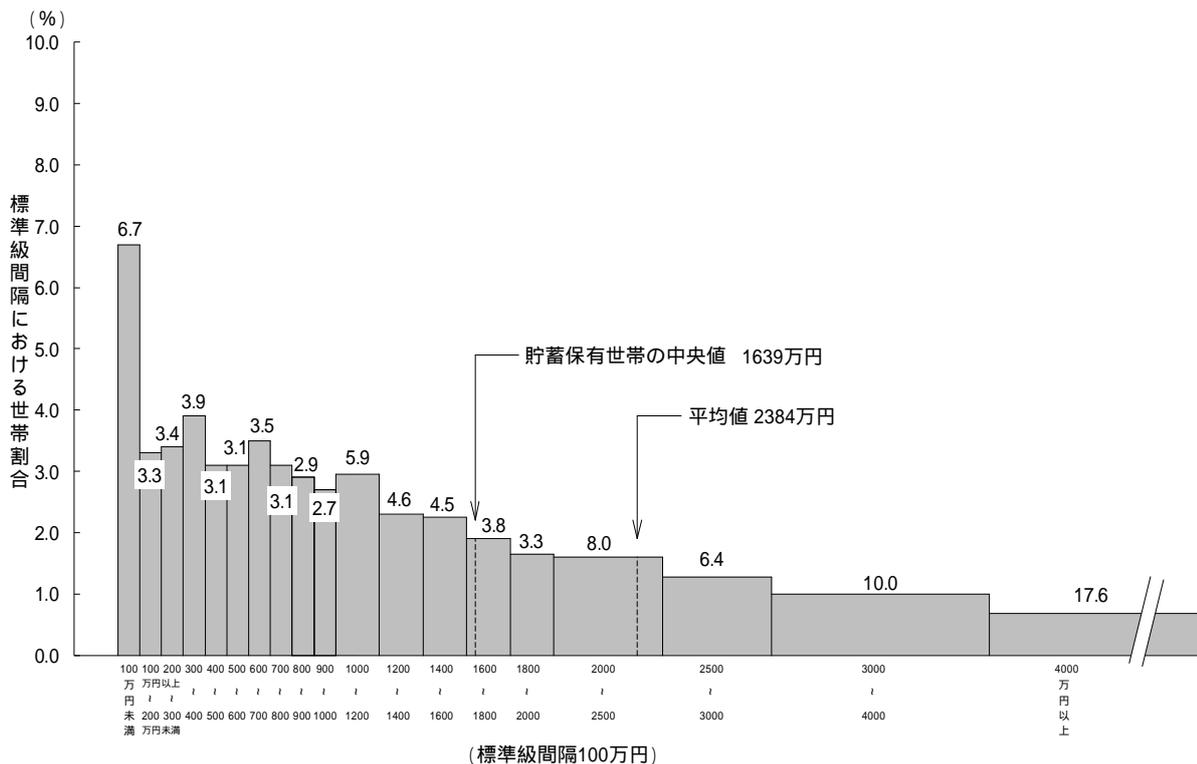
5 高齢者世帯

(1) 高齢者世帯では貯蓄現在高が2500万円以上の世帯が約3分の1を占める

二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上の世帯(二人以上の世帯に占める割合52.7%。以下「高齢者世帯」という。)について貯蓄現在高階級の世帯分布をみると、二人以上の世帯全体と比べて、高齢者世帯では貯蓄現在高が高い階級にも広がった分布となっている。そのうち2500万円以上の世帯は全体の34.1%を占めている。一方で、300万円未満の世帯は全体の13.4%を占めている。

(図 - 1 - 3, 図 - 5 - 1, 表 - 5 - 1)

図 - 5 - 1 高齢者世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布 (二人以上の世帯) - 2017年



注) 標準級間隔100万円(1000万円未満)の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄「0」世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

表 - 5 - 1 貯蓄現在高階級別世帯分布 (二人以上の世帯) - 2017年 -

世帯分布	平均	(%)		
		300万円未満	300万円以上～2500万円未満	2500万円以上
二人以上の世帯	100.0	20.5	55.8	23.7
うち世帯主が60歳以上の世帯	100.0	13.4	52.5	34.1
うち世帯主が60歳未満の世帯	100.0	28.4	59.4	12.2

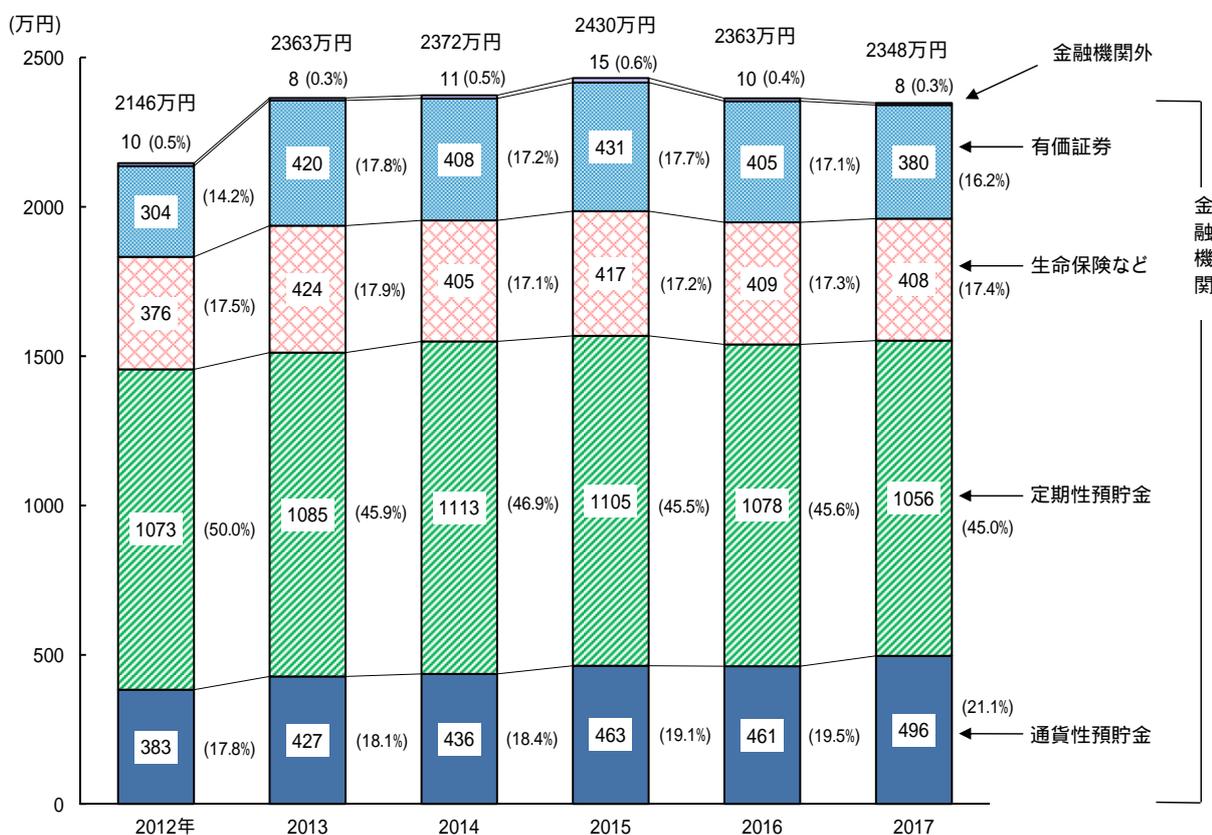
(2) 高齢無職世帯の有価証券は380万円で前年に比べ6.2%の減少

二人以上の世帯のうち世帯主が60歳以上で無職の世帯（二人以上の世帯に占める割合34.0%。以下「高齢無職世帯」という。）の1世帯当たり貯蓄現在高は2348万円で、前年に比べ15万円、0.6%の減少となり、2年連続の減少となっている。

貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が1056万円と最も多く、次いで通貨性預貯金が496万円、「生命保険など」が408万円、有価証券が380万円、金融機関外が8万円となっている。また、前年と比べると、有価証券が25万円、6.2%の減少、定期性預貯金が22万円、2.0%の減少など、通貨性預貯金を除く全ての項目で減少となっている。

(図 - 5 - 2, 表 - 5 - 2)

図 - 5 - 2 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

表 - 5 - 2 高齢無職世帯の貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

年次	貯蓄現在高	金融機関					金融機関外
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券		
金額(万円)							
2008年	2366	2354	378	1083	417	475	12
2009	2275	2261	378	1059	407	416	14
2010	2245	2224	381	1073	411	360	21
2011	2204	2189	389	1074	401	326	15
2012	2146	2136	383	1073	376	304	10
2013	2363	2356	427	1085	424	420	8
2014	2372	2362	436	1113	405	408	11
2015	2430	2416	463	1105	417	431	15
2016	2363	2353	461	1078	409	405	10
2017	2348	2340	496	1056	408	380	8
構成比(%)							
2008年	100.0	99.5	16.0	45.8	17.6	20.1	0.5
2009	100.0	99.4	16.6	46.5	17.9	18.3	0.6
2010	100.0	99.1	17.0	47.8	18.3	16.0	0.9
2011	100.0	99.3	17.6	48.7	18.2	14.8	0.7
2012	100.0	99.5	17.8	50.0	17.5	14.2	0.5
2013	100.0	99.7	18.1	45.9	17.9	17.8	0.3
2014	100.0	99.6	18.4	46.9	17.1	17.2	0.5
2015	100.0	99.4	19.1	45.5	17.2	17.7	0.6
2016	100.0	99.6	19.5	45.6	17.3	17.1	0.4
2017	100.0	99.7	21.1	45.0	17.4	16.2	0.3
対前年増減率(%)							
2008年	-1.3	-1.3	-4.1	0.0	-2.6	-1.0	-7.7
2009	-3.8	-4.0	0.0	-2.2	-2.4	-12.4	16.7
2010	-1.3	-1.6	0.8	1.3	1.0	-13.5	50.0
2011	-1.8	-1.6	2.1	0.1	-2.4	-9.4	-28.6
2012	-2.6	-2.4	-1.5	-0.1	-6.2	-6.7	-33.3
2013	10.1	10.3	11.5	1.1	12.8	38.2	-20.0
2014	0.4	0.3	2.1	2.6	-4.5	-2.9	37.5
2015	2.4	2.3	6.2	-0.7	3.0	5.6	36.4
2016	-2.8	-2.6	-0.4	-2.4	-1.9	-6.0	-33.3
2017	-0.6	-0.6	7.6	-2.0	-0.2	-6.2	-20.0